2-4．普天間飛行場跡地周辺の市民への取組み

取組み方針①：市内各種団体の代表が一堂に会して意見交換を行うことで、将来の継続したまちづくりの議論に繋げていき、今後のけん引役となる人材の掘り起こしを行う。

取組み方針②：児童・生徒向けに制作したプロモーションビデオ（PV）をきっかけとした、児童・生徒が自ら普天間飛行場跡地のまちづくりに対し興味・関心を持つようなプログラムを実施する。

取組み方針③：児童が考える普天間飛行場跡地のまちづくりについて、市民に対し周知を図る。

（1）市内各種団体に対する跡地利用計画検討に関する情報発信及び広報

1）開催概要

普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けた取組内容に関する情報共有を図るとともに、返還後のまちづくりに対する機運を高めることとあわせ、新たな若い世代の人材掘り起しを目的として、市内各種団体を対象とした懇談会を開催した。

なお、今年度は計４回開催し、第２回は女性団体連絡協議会と、第３回は自治会長会との個別意見交換を行った。

2）開催スケジュール

	月　日	時　間	場　所
第１回	７月 26 日(水)	19 時～20 時 30 分	中央公民館３階　第二研修室
第２回	９月 20 日(水)	19 時～20 時 30 分	男女共同参画支援センターふくふく　多目的室
第３回（※）	10 月６日（金）	14 時～15 時	宜野湾市役所別館３階　第一会議室＋建設部会議室
第４回	３月 21 日(木)	19 時～20 時	宜野湾市役所別館３階　第一会議室

※市のみで対応

3）実施概要及び議事要旨

〇実施概要

【第１回】

① 日　　時　：令和５年７月 26 日（水）　19 時 00 分～20 時 30 分

② 会　　場　：宜野湾市中央公民館３階　第二研修室

③ 出 席 者　：長堂　昌太郎　宜野湾市商工会会長
宮本　信弘　宜野湾市老人クラブ連合会会長
宮園　峰子　宜野湾市女性連合会会長
座間味　万佳　宜野湾市女性団体連絡協議会副会長
名城　清　宜野湾市自治会長会会長
友利　亘　宜野湾市 PTA 連合会会長
桃原　広弥　宜野湾市青年連合会事務局長

《事務局》
津波古　良幸　　宜野湾市基地政策部　次長兼まち未来課長
永山　　拓朗　　宜野湾市基地政策部まち未来課　係長
仲本　　彩乃　　宜野湾市基地政策部まち未来課
石井、崎山（昭和株式会社）

④ 議　　題　：１．全体計画の中間とりまとめ（第２回）
２．前回（昨年度）の主なご意見の要旨
３．各団体との意見交換会に向けて

⑤ 配布資料　：・次第
・参加者名簿
・資料①：令和５年度第１回普天間飛行場土地利用に係る市内各種団体懇談会資料
・資料②：令和４年度普天間飛行場跡地利用に係る市内各種懇談会議事要旨

写真：懇談会の様子①

写真：懇談会の様子②

〇意見概要

【 長堂 昌太郎 様】　宜野湾市商工会　会長

（意見交換のテーマについて）

・商工会としては、まず人が集まらないといけないと考えている。**鉄軌道が整備されるのか、整備されたら駅周辺の開発をどのようにしていくのか、知りたい。**鉄軌道が整備されるかどうかで、期待感が変わる。

・商工業者としては、**観光に特化したまちづくり**にしなければならないと考えている。

・観光に特化して大規模な公園を整備したシンガポールのように、例えば公園で誘客を図るなど、明確にビジョンを見出す必要がある。

・沖縄県も今後人口減少が進むため、人口動態を無視するならば人を誘引する何かが必要である。

（個別説明会の是非について）

・今年度が商工会の結成 50 周年目にあたり、行うべきことが色々とあるため、持ち帰り検討したい。

（質問と回答）

・個別説明会の会場や規模はどう考えているのか。約 30 名いるが、部会長は 10 名である。

⇒今後の相談となるが、30 名程度で意見交換できればと考えているが、部会長を対象とした 10 名程度でも構わない。（事務局）

【 宮本 信弘 様 】　宜野湾市老人クラブ連合会　会長

（意見交換のテーマについて）

・早めに、理解できるような内容で説明会を開催いただきたい。我々は地権者ではないため、うわさしか知らない。

・**行政（計画策定側）の夢（ビジョン）を語ってほしい。**

・地主は儲けようという発想しかないと思っている。まず、計画の内容を理解させないといけないと考える。

（個別説明会の是非について）

・各地区代表が月 1 回定期的に集まっているが、**1 時間以上の時間を取れるかどうか分からない。**

・実施時期などは、今は回答できない。今後調整するが、**夜の開催はやめていただきたい。夜は参加者がいないと思う。**

（質問と回答）

・先行取得用地の小学校用地は 1 校分か。また、小学校の面積は何を基準としているか。

⇒小学校 2 校と中学校 1 校分である。また、県の基準を採用しており、県内小学校面積の割戻しで算出している。（事務局）

・那覇新都心地区では、小学校用地面積を確保できないため断念したと伺った。今回も面積が大きい印象を受ける。将来の少子化の話もあるため、心配である。再検討願いたい。

【 宮園 峰子 様 】　宜野湾市女性連合会　会長

（意見交換のテーマについて）

・メンバーは、地元の人間ではなく宜野湾に嫁いで来た方が多く、普天間飛行場のことはあまり話題にならない。

・防災ヘリポートなど、防災機能があればいいのでは、と話していたこともあり、**防災関係や安心・安全なまちづくり**についての話題だと意見が出るのではないか。

・市の施設が点在している状況のため、**公共公益施設を集約した土地利用計画**などもテーマとして考えられる。

（個別説明会の是非について）

・今年度開催するかどうかは、持ち帰って検討させていただきたい。

・**開催するならば、２月の土曜日**がよい。

【 座間味 万佳 様 】　宜野湾市女性団体連絡協議会　副会長

（意見交換のテーマについて）

・子ども目線では、ハード面で住みやすいまちであることは当然求められるが、**「子育てしやすい」**という視点で考えると、親の視点が入ってくる。子どもと過ごす時間が多い＝子育てしやすい、と考える。

・そのためには、宜野湾市で親が働けるということが重要となる。市内で働けるということはまちづくりを進めるうえで重要と考える。**市内で働ける環境づくり**のためには、という視点でも話がつながってくる。

・宜野湾市に住んでみたいと思えるような、**人が訪れるまち**という視点では、伝統、歴史、文化財を大切にしているところに観光客が訪れるものと考える。

・10 代と 20 代では、楽しみ方が異なる。20 代はお金を使うが 10 代は使わない。そのため、それぞれの世代が楽しむことのできるまちをつくっていければよいと考える。

・宜野湾市は高低差がある地形のため、高台部と低地部ではまちづくりの考え方が異なるものになると考える。**高低差のあるまちづくり**について考えてみるのも面白いのではないか。

（個別説明会の是非について）

・持ち帰らせていただきたい。

【 名城 清 様 】　宜野湾市自治会長会　会長

（意見交換のテーマについて）

・渋滞問題がひどいため、**道路計画や鉄軌道、散歩コースなど具体的な話ができればよい。**

・宜野湾市民は、市内では遊ばない。遊べる場所が少ない。北谷など市外に遊びに出てしまう。市内で遊べるテーマパークなども面白いのではないか。

・大謝名方面の渋滞が気になる。土地利用計画は、地権者の問題になるため難しい。

・有事の際、西海岸からは高台に避難する必要があるため、**防災の話**もよいのではないか。

（個別説明会の是非について）

・持ち帰りとさせていただきたい。

【 友利 亘 様 】　宜野湾市 PTA 連合会　会長

（意見交換のテーマについて）

・実施されている出前講座については、子ども達の夢を語れる場があることが良かった。毎年実施していただきたい。**PTA 連合会のメンバーも毎年変わるため、意見交換については継続的に市から呼びかけていただきたい。**

・自治会を基点とした祭りの場ができれば楽しいし、世代の交流ができる。自治会でイベントができる**広場**なども設けてほしい。

・**子どもを育てやすい、異文化交流ができるまち**であってほしい。

・沖縄市が琉球キングスを前面に押し出しているように、宜野湾市にも**スポーツの拠点**があってほしい。

（個別説明会の是非について）

・**個別説明会はやりたい。学校長以外にも、各校 PTA 会長や副会長も含めて開催したい。**

⇒皆が一同に会する場があるのか。（事務局）

→**年度初めに、50 名程度集まる機会がある。**実施時期などについては持ち帰らせていただきたい。

【 桃原 広弥 様 】　宜野湾市青年連合会　事務局長

（意見交換のテーマについて）

・**交通面や渋滞の解消**が最もうれしい。

・公園が新しく整備されているのはありがたいが、駐車場がないのがネックである。歩いて行ける公園や、駐車場の確保ができている公園など、**設備が整った公園**があれば親世代はうれしいと考える。

・ディズニーランドとは言わないが、遊べる場所があればうれしい。

・**祭りができる広場**がほしい

・基地が存在するがゆえに、東西の格差が生じていると考える。

⇒土地利用計画について個別説明会で説明した場合、どのような意見交換会になると想定されるか。（事務局）

→問いかければ意見は出てくると思うが、広場が住宅密集地にあり練習場所がなくなっている現状のため、**広場・公園がほしいという意見が出てくるものと考えられる。**

（個別説明会の是非について）

・主催している**祭りが 10 月に開催のため、それ以降であれば意見交換は可能かもしれない。**

・個別意見交換会の場所、年齢の目安はどのように想定しているか。**議題を先に提示していただきたい。それによって、年代が変わってくる。**

⇒場所や時間は限定しておらず、皆さまの集まりやすい場所にお伺いする。（事務局）

→時間は、**20 時以降でお願いしたい。**

事務局

・8 月 10 日を目安にご回答いただけると助かるが、遅くとも 8 月末には頂きたい。次回以降は、12 月まで個別意見交換会を開催し、年度末に報告会を行う予定である。

【第２回】

① 日　　時　：令和５年９月 20 日（水）　19 時 00 分～20 時 30 分

② 会　　場　：宜野湾市男女共同参画支援センターふくふく　多目的室

③ 出 席 者　：宜野湾市女性団体連絡協議会　８名

《事務局》
津波古　良幸　　宜野湾市基地政策部　次長兼まち未来課長
永山　　拓朗　　宜野湾市基地政策部まち未来課　係長
仲本　　彩乃　　宜野湾市基地政策部まち未来課
石井、新藤（昭和株式会社）

④ 議　　題　：１．跡地利用策定に向けた「全体計画の中間とりまとめ（第２回）」の概要紹介
２．全体懇談会（7/26）の主なご意見
３．意見交換会
４．参考資料

⑤ 配布資料　：・次第
・資料①：宜野湾市女性団体連絡協議会との意見交換会　資料

写真：懇談会の様子①

写真：懇談会の様子②

〇意見概要

（多世代が安心して暮らせるまちについて）
・親を介護する世代も含め、多世代が安心安全に暮らせるような施策が望ましい。
・将来は介護や子育ての仕組みが変わっているかもしれない。また、家族のスタイルも、現在の核家族化というスタイルから変わっているかもしれない。そのため現在の感覚ではなく、10 年先、20 年先を見据えた新しい感覚を持っていたい。

（子育てしやすいまちについて）
・以前、おおたかの森を視察した際に活気があり衝撃を受けた。子育ての取組が充実しているから良い雰囲気のまちになっていると改めて感じた。
⇒子育ての仕組みがまちの中にあるとよい。（事務局）
・子育ての前段として、まず、女性が幸せに安心して暮らせるまちづくりが大事なのではないか。**女性が子育てしやすい、働きやすいまちをつくる必要がある。女性が安心して就労できる仕組みを構築することで女性が集まり、女性が集まれば人が定着する。**
・就業の場が近くに多くあることは女性が安心して働くことにつながり、女性が集まると学校などができ、人の定着につながる。現在の計画はスケッチ段階であり具体的な話ができないことは御理解いただきたい。（事務局）
・**まずは子育て世代を集めて、子どもが安心できるまちづくりを行うことで仕事が生まれ、それを見守る世代(高齢者）も集まる**が、**子育てと高齢者を同時に考えると焦点がぼやける気がする。**また、魅力的なまちとは何かを考えると、**子育てしやすいまちになれば全国から人が集まり活性化する**と思う。

（跡地に望ましい施設について）
・**農業研究など農業を新産業として進めることもよい**と思う。また、日本にはあまりない、サファリパークをつくる構想などよいのではないか。
・先日、海外研修に行き、**ハブ空港の施設が日本には不足していると感じた。**フィリピンでは国際会議場が空港周辺に立地しており、研究、学術関連において世界中から人が集まる仕組みになっている。
・MICE があれば世界中の方が滞在してお金を落としてくれ、観光・経済・文化に影響を与える。**多様な文化がミックス**しており、沖縄にぴったりだと思った。
・宜野湾マリーナには世界の富豪がクルーザーを停泊させ、飛行機で本土を訪れている現状がある。**大富豪がクルーザーで訪れた後、そのまま沖縄でお金を落とせる施設がないと感じている。**商業施設などがあれば、世界のクルーズ船を沖縄まで誘致できると思う。
・北中城村のまちづくりの例で、沖縄三育小学校近くの公園の上の方に貸農園のプランがあり、バイオマスにつながるような施設を整備するという話が出たことがある。**学校周辺に科学技術系の体験施設（体験プログラム含め）などがあると、精度のいい学習につながると思う。デジタル化しているからこそ、体験できる施設があるとよい。**市内で体験できる施設があると、市外からも人が訪れると思う。子どもたちに関連する遊び場や公園も大事であるが、学習につながる施設も必要と感じる。

・宮沢賢治イーハトーブ館のようなイメージで整備し、森を生かして自然体験ができるようにすると、子育てしていても楽しい。
→癒しの空間だけでなく、新しい施設も整備されていないと若い世代は生活しない。**懐かしさだけでなく、利便性も兼ね備えることが大事**である。
・**施設を建設する際には、規模を大きくすることでデラックス感が生まれ、のびのびできる。**

（道路整備、交通計画について）
・７月の懇談会に参加した際、鉄軌道・路面電車の話に期待したが実現性が疑問であり、いずれ敷設されるとよいという感覚であった。今後、コミュニティバスの話も出てくると思うが、市民の安心感につながればと思う。
・大山から宜野湾市役所まで向かう時、東から回っても西から回っても 20 分以上かかるが、普天間飛行場内を直線で通過すると５分で到着する。返還後は、交通網の改善に期待している。
・外国人から見て、日本は安全だから住みたいと言われている。沖縄はもっと安心して暮らせるまちとして、**歩車道がきちんと分離され、自転車で市内を回れるような安全な道路になるといい。また、トラムや路面電車でお年寄りが歩けるようなまちにしてほしい。**

（景観、建築意匠について）
・**宜野湾独特のデザイン性のあるものがいい。**台湾での研修に参加した際、そこには世界中の建物があり、その中に日本統治時代の古い建物もあった。そこで若者達がカフェを経営していた。アンバランスであるがノスタルジックを感じさせる、でも近代的である。
・**宜野湾は外人住宅のイメージ**がある。大山の高台に外人住宅が昔はあった。塀がなく、壁に看板が書かれているようなイメージである。
→外人住宅は後から建築されたから、元々は瓦屋根である。

（西海岸について）
・きれいな夕陽や花火も見たい。これほど那覇空港から近いのに、西海岸を活用できていない。

（伝統行事について）
・野嵩は高台であるが、水が豊富で水田が多い。宜野湾市は、**昔は稲作が盛んであり、その稲わらで綱を引くため綱引きの行事が多い。**稲にまつわる行事が多く残っている。現在、農地はほとんどないが、水が非常に豊富な場所である。

（樹木について）
・松並木の復元も大事だが、松並木は硬い印象を受ける。私は、**日よけになるような、柔らかい葉がアーチをつくり、木陰をつくっている並木のイメージ**が好きである。
→桜と松を一緒に植えることができればと思う。
→野嵩に、トックリキワタやゴールデンシャワーが数多くあったが、害虫の被害により花が

咲く時期になると全て切られてしまい残念である。

（沖縄の経済発展のために）

・一定以上の工事が県外の大手ゼネコンに発注されるのであれば、**大手企業の本社を宜野湾市に誘致できれば沖縄の経済が潤うことにつながる**と思う。

⇒例えば、税制等の優遇措置として特区の位置づけを行うことは、制度としてあり得ると考える。（事務局）

→県外企業がコールセンターを沖縄で開設している理由は、沖縄は賃金が安く、かつ補助金をもらえるからであり、県内企業を潤す必要がある。

⇒海外でも、緑の多い場所に最先端企業やそこで研究する研究者が来て、リラックスしながら良い研究ができるという事例もある。（事務局）

（今から私たちが取り組めること）

・**宜野湾の歴史、方言など沖縄への思いを育み、宜野湾市の土地への愛着を育てるソフト面は、今すぐに取り組める**と思う。**実際に土地を活用する際、そこに愛着を持っている人たちがいることが大事**と思う。**人に対するソフト面を今から取り組めればよい**と思う。

⇒子どもたちに紡がれていく教育面につながると思う。（事務局）

（その他）

・研修や視察を行う時には、一般公募で参加メンバーの人選をしても良いのではないか。年配者ばかりではなく、若い世代の、違う視点の人達を人選してもよいと思う。

【第３回】

① 日　　時　：令和５年 10 月６日（金）　14 時 00 分～15 時 00 分

② 会　　場　：宜野湾市役所別館３階　第一会議室＋建設部会議室

③ 出 席 者　：宜野湾市内自治会長　23 名

《事務局》
津波古　良幸　　宜野湾市基地政策部　次長兼まち未来課長
永山　　拓朗　　宜野湾市基地政策部まち未来課　係長

④ 議　　題　：１．跡地利用策定に向けた「全体計画の中間とりまとめ（第２回)」の概要紹介
２．全体懇談会（7/26）の主なご意見
３．意見交換会

⑤ 配布資料　：・次第
・資料①：宜野湾市自治会長会との意見交換会　資料

〇意見概要

（返還までのスケジュールについて）

・返還時期や時間軸が分かれば、現実的な話や夢の持てるような計画がイメージできる。（喜友名）

⇒国から返還時期が改めて示されれば、ある程度の時間軸を示せるように取り組んでいきたい。（事務局）

・整備に何年かかるのか？（長田）

⇒宇地泊第二地区は約 36ha で 30 年かかっている。その 10 倍以上ある普天間飛行場の跡地整備は、全て完成するのに 50～100 年規模が想定されるが、段階的に整備しながらまちびらきが行われていくことを想定している。（事務局）

（施設に関する意見について）

・**中心に市庁舎など重要施設があった方がよい。**（野嵩 1 区）

⇒先行取得計画において、市庁舎用地も今後取得する予定。（事務局）

・**火葬場**をつくってほしい。（自治会全体の願い。）（大山）

⇒みどりの中のまちづくりとして、公園・緑地には多様な機能が求められるので、その中で火葬場についても検討することになると考えている。（事務局）

・観光客で賑わう施設の誘致が必要。（上大謝名）

・**高台眺望を活かすべき。**また、**平和のシンボル的な施設**もあった方がよい。（上大謝名）

⇒西海岸エリアの宜野湾マリーナやコンベンションセンターとの連携、那覇空港や港湾など玄関口からの直通道路などができれば、ある程度距離があっても観光客を呼び込むことができると見込まれるため、そういった観点も含めて高台の優位性を活かして、他エリアとの違いを見出したい。（事務局）

・**学校など公益施設が必要。**また、公共用地の先行取得状況を知りたい。（中原）

⇒学校用地など約 20ha 計画に対し、現在約 10ha 取得完了。今後、20ha を達成した後に、さらに増やすことも考えている。（事務局）

（建物の高さ制限、景観について）

・高さ制限などは、中途半端はよくない。制限を守った人が損をしないようにしてほしい。（愛知）

⇒地区計画等で規制をかけることも法令上は可能だが、そのためには、原則地権者全員同意が条件となったりするため、制限の強弱を含めて土地利用計画のあり方は地権者や住民などとの協議・合意のもと進めていければと思う。（事務局）

（住宅地について）

・若者がマイホームを持てるように、**安価な土地提供をしてもらいたい。**（宇地泊）

・住宅供給公社の建設した建物を安価に貸して、若者が住めるまちにして人口流出を防ぐことも考えられるのではないか。

⇒区画整理事業で利便性が良くなると、市場性が高まって地価が上昇する傾向がある。今後

計画を具体化するなかで、若者を含め誰でも住みよいまちづくりを目指して検討していきたい。（事務局）

（鉄軌道について）
・鉄道の種類や規模など具体的な計画が知りたい。（長田）
⇒鉄軌道の実現性について、県の取組状況としては、採算性（費用便益比）が出ないことと、赤字路線になってしまうことが課題とされている。赤字路線でも運用する等、法律や制度の見直しなど多々方策はあると思われるが、一方で市民・県民ができることとしては、マイカー利用を減らして公共交通の利用を増やすことで、鉄軌道の利用者が増える＝採算性もでて、必要性も高くなるということにつなげていく必要があると思う。このため、県の取組としては、まず短期的・中期的取組みとして、公共交通の利用を高め、そして長期的には鉄軌道を骨格とした公共交通の構築という計画になっている。（事務局）

（大規模公園について）
・**大規模公園の整備・維持管理が課題。**国営公園を目指しているのか。（中原）
⇒国営公園を目指しているが、国との調整を進めていく必要がある。（事務局）

（無電柱化について）
・西普天間住宅地区のように、まち全体の無電柱化がよい。（大山）
⇒西普天間住宅地区の取組実績を参考に、無電柱化を目指していくこととなる。（事務局）

（周辺市街地との一体的な整備）
・周辺市街地と一体的に整備してほしい。少なくとも、基地との境界付近の影響範囲は整備が必要。（愛知）
・国道と市道宜野湾 11 号をつなげる道路がなく、生活道路としてつながっていない状況である。**基地返還後の周辺整備は、生活道路とのつながりも考えるべき。**（愛知）
⇒周辺市街地との一体的な整備は、大きな課題のひとつとの認識である。基地内外の整備格差をどれだけ減らせるか、どこまで一体的に整備できるかは今後、地元・自治会とも連携調整のもと進めたい。（事務局）

（事業費について）
・事業費はどの程度か。高率補助にして市負担を減らすべき。（中原）
⇒過去試算では、区画整理事業だけで約 1,000 億円、周辺整備等も含めると 2,000～3,000 億円規模とされている。民間等も含めると 5,000 億円規模。（事務局）

（地下利用について）
・**返還前から地下利用ができれば、地下に道路を整備することで渋滞が減り、便利になる。**（長田）
⇒返還前は、地下利用も含めてできない状況。市としては、県道 34 号線の補完道路として滑走路誘導エリア（南側の一部出ている部分）の地下道路を米側・国側に要望している

が、OK が出ない状況。（事務局）

（地下水）について

・**湧水が枯れないように整備してほしい。**（伊佐）

⇒湧水にできる限り影響がでないような、手法・工法の検討になってくると思う。また、みどりの中のまちづくりとして、公園緑地だけでなく民有地もみどりを活かした工夫も取り入れていきたい。（事務局）

【第４回】

① 日　　時　：令和６年３月 21 日（木）　19 時 00 分～20 時 15 分

② 会　　場　：宜野湾市役所別館３階　第一会議室

③ 出 席 者　：長堂　昌太郎　宜野湾市商工会会長
宮園　峰子　宜野湾市女性連合会会長
座間味　万佳　宜野湾市女性団体連絡協議会副会長
名城　清　宜野湾市自治会長会会長
新垣　真弓　宜野湾市 PTA 連合会事務局長

《事務局》
津波古　良幸　　宜野湾市基地政策部　次長兼まち未来課長
永山　　拓朗　　宜野湾市基地政策部まち未来課　係長
仲本　　彩乃　　宜野湾市基地政策部まち未来課
石井、崎山（昭和株式会社）

④ 議　　題　：１．跡地利用計画策定に向けた県、市の取組み
２．今年度実施した各団体との意見交換概要
３．次年度の取組み予定
４．意見交換

⑤ 配布資料　：・次第
・資料①：令和５年度第４回普天間飛行場土地利用に係る市内各種団体懇談会資料

写真：懇談会の様子①

写真：懇談会の様子②

○意見概要

①今回個別意見交換を実施した団体からのご感想、改善点、ご要望

【 座間味 万佳 様 】　宜野湾市女性団体連絡協議会　副会長

・私たちの団体は、各団体が集まった集合体であり、メンバーそれぞれが所属する会の目的が異なる。そのため、会として目指す方向性が団体によって異なっており、意見交換の内容が多岐にわたる。したがって、意見の集約方法が課題であると感じた。

⇒意見集約しやすい項目を検討していきたい。今年度は、子育てしやすいまちをテーマとして意見交換させていただいたが、そのために今何ができるかという視点で聞いてみると意見をいただきやすくなるのではないかと思った。改めて相談させていただきたい。（事務局）

【 名城 清 様 】　宜野湾市自治会長会　会長

・我々自治会も同様、地域によって立場と意見が異なる。普天間飛行場がいつ返還になるのか未定のため、将来のまちづくりを担う小学生や高校生の講座等を多く実施すればよいと考える。その方が、幅広い意見が出ると考える。自治会では交通渋滞の意見しか出ない。

②引き続き意見交換を行うにあたって意見交換しやすい（したい）テーマ

【 宮本 信弘 様 】　宜野湾市老人クラブ連合会　会長　（事前にいただいたご意見の紹介）

・歴史的資源の活用方法等について、我々は戦後世代であるが、子どもの頃に見た鍾乳洞や湧水などの話をすることができそうだと思った。
また、出前講座については、市内全校での実施が必要と考える。子どもが学べば親にも伝わる。

【 長堂 昌太郎 様】　宜野湾市商工会　会長

・返還後のまちづくりは、我々よりももっと若い世代の話となる。人口が減少するため、根本から宜野湾市のまちづくりを考え直す必要がある。例えば鉄軌道駅の意見についても、本当に人が集まるのか、集められるのかと個人的には思っている。人口減少に伴い、新築住宅は減り、子どもも数が減ってくる。市内だけではまちを維持できないため、外部から人を呼び込む必要がある。
・今、宜野湾市の現状改善（我々の足元の改善）という点についてできることは、交通問題だと考えている。子どもの学校の送迎も、問題の一つであるが、その辺りから意識改革が必要と感じている。

⇒例えば、意見交換のテーマを「20 年、30 年後のまち」として、それをイメージして今何ができるか、という意見交換の展開はあり得るのではないかと思った。今後改めて相談させていただきたい。（事務局）

【 宮園 峰子 様 】　宜野湾市女性連合会　会長

・現在、日本の人口は約 1 億人であるが、西暦 2100 年には 8000 万人程度になると本日のニュースで報道されていた。7 月 26 日の第 1 回懇談会で、女性連合会からの意見で

「嫁いで宜野湾市に住んだ方も多いので、普天間飛行場のことはあまり話題にならない」とあったが、実際私もそうであるが、確かにこれまで普天間飛行場は話題にあがらなかった。

・「子どもと女性が笑っている」のが「よいまち、平和なまち」と考えている。そのため、子どもたちへの出前講座は継続して実施してほしいと思った。

・並松街道と関連づけたまちづくりに関して、三角食堂辺りは少しずつまちが変化していることは分かるがあまり変化を感じられない方も多いため、さらに計画内容のＰＲをしていただくとよい。散歩などすれば、普天満宮周辺のまちづくりが進んでいることが分かるが、車で通過するため気づかない。

・子どもたちには、平和なまちになるために何が必要か考えてほしい。子育て世代の方々については、今はあまり婦人会に加入しなくなっているため、若い世代にぜひとも普天間飛行場跡地のまちづくりを考えてほしいと思っている。

⇒今の話を伺って、例えば子育て世代の方々に対して、まず跡地利用計画の内容、将来のまちのイメージを周知したうえで意見交換できればと思った。（事務局）

【 新垣 真弓 様 】　宜野湾市 PTA 連合会　事務局長

・子育てしやすいまちが一番である。そのためにも、跡地将来像として記載されている「世界に誇れる優れた環境」が重要と考える。

・私は以前、普天間飛行場内に入ったことがあり、ガマや闘牛場跡を見学し、普天間の資源の豊富さを感じた。普天間の地域資源を活かしつつ、環境を整えていきながら、公園を充実させて、交通の問題も解消できればよいと考えている。

・以前、東日本大震災による大津波に関する講演を拝聴し、その後講演者と話をする機会があったが、沖縄で津波が発生した時に滑走路として残るのは普天間飛行場だけであると聞いた。そういったことも考えながら、まちづくりを進めていただきたい。また、出前講座は引き続き実施し、若い世代との意見交換を継続して、まちづくりについて考える環境を整えていただきたい。

【 座間味 万佳 様 】　宜野湾市女性団体連絡協議会　副会長

・若い世代の意見を聞くことも大事と感じた。いつ返還になるか分からない状況のため、今発言していることも実現するかどうか分からない。実際は、小学生や高校生世代がまちづくりの中心になる世代と思う。夢を語るというまちづくりの視点は良いと考える。そのため、子ども達のためにまちづくりに関する視点を育むという面では、嘉数高台のパネルの常設展示はよいことであると考える。20 年後、30 年後を見据えてまちづくりを考えていただきたい。しかし、我々の意見も踏まえて考えていただきたい。大人になるとハード面に関するまちづくりの考えが強くなる。子どもは逆にソフト面を考えるため、棲み分けができてよいと考える。

⇒ソフト面について、宜野湾市というまちへのプライドを育んでいくためにはどういった取組みをすればよいかなど、大人の皆さまと意見交換してもよいのではと感じた。（事務局）

【 名城 清 様 】　宜野湾市自治会長会　会長

・交通事情が問題と感じている。鉄軌道が完成すれば渋滞は解消すると考えており、人も集

まってくる。そのためにも道路は拡幅し、散歩しやすい安心・安全なまちづくりを行う必要がある。地域資源については、中原区、宜野湾区、喜友名区辺りは資源が多いため、意見が出やすいと考える。

③その他

【 長堂 昌太郎 様】　宜野湾市商工会　会長

・本日の会場後ろに展示されているパネルのデータを提供いただきたい。商工会理事の中で、見てみたいという方がいれば提供したいと考えている。
⇒承知した。（事務局）

【 座間味 万佳 様 】　宜野湾市女性団体連絡協議会　副会長

・まちづくりについて考えていくにあたって、今何に困っているのかという課題から考えてみて、そこから自分達で跡地利用計画について考えるのもよいと感じた。

【 新垣 真弓 様 】　宜野湾市 PTA 連合会　事務局長

・PTA 会長会が不定期で開催されるため、その場で跡地利用計画について説明してはどうか。若い子育て世代の方々が参加されるため、よいと思う。時期は、市民会館改修後になると思うが。

【 事務局より総括 】

・経済、将来の話、地域資源、まちのビジョンなど含めて、若い世代と一緒になって意見交換できればよいと感じた。また、普段の会合の場では普天間飛行場の話題が出ないとのことであったため、基礎知識の習得を目的として各団体に対して跡地利用計画の説明を行い、意見交換を行っていければよいと考える。
・令和 9 年度までに計画内容の全てを決定するのではなく、継続的に検討を進めていく必要がある。普天間飛行場跡地のまちづくり実現のためには、市や県だけで進めることは難しく、国家プロジェクトとして進めていく必要があると考えている。そのためにも、市民の皆さまの考えやご意見を国に示していきたい。検討の段階に応じて、柔軟に進めていきたい。

４）取組み成果と今後の課題

【取組み成果】

●個別団体との意見交換による、市民目線でのまちづくりの課題

・女性団体連絡協議会、自治会長会の２団体と個別の意見交換を行ったことで、各団体が普段から気にかけている視点から浮かび上がり、市民目線でのまちづくりの課題が明確になった。

【今後の課題】

●個別意見交換会の継続した開催

・今回は２団体と意見交換を行ったが、今後も継続して他団体との意見交換を継続し、市民目線での跡地利用計画に対する機運を少しずつ高めていく必要がある。

●新たな若い世代の人材掘り起し

・今後、返還後のまちづくりの担い手となる若い世代の人材掘り起しを進めていく必要がある。

●共通する意見として発信しやすい項目の設定

・団体によっては、各団体の集合体である場合もあるため、意見集約を行うにあたっては、共通する意見を発信しやすい項目を検討する必要がある。

（2）市内小学校において児童へ向けた出前講座の企画・開催

1）目的

普天間飛行場跡地利用について、これまでの取組み内容を紹介し、児童・生徒に返還後のまちづくりについて考えてもらう機会を促すことを目的とし開催した。

2）講座の主なポイント

①プロモーションビデオ鑑賞することで、跡地利用計画に対する理解を深めることができる。

②普天間飛行場跡地に必要な機能について、グループで話合う。

③普天間飛行場跡地の「みらいのまち」をイメージしてもらうことで、普天間飛行場跡地利用計画について周知を図りつつ、まちづくりに興味をもってもらう。

3）開催場所・スケジュール

	日	時　間	開催場所	学年	人数（名）
第1回	6月29日（木）	9時35分～11時20分	普天間第二小学校	3	81
第2回	9月15日（金）	9時10分～10時55分	大山小学校	6	73
第3回	10月17日（火）	9時10分～10時55分	大山小学校	5	74
第4回	11月24日（金）	8時35分～12時10分	志真志小学校	6	109

４）出前講座開催

①普天間第二小学校（３学年）

【実施概要】

普天間跡地利用計画のプロモーションビデオを鑑賞後に、跡地利用計画に関するクイズを行った。その後、各グループに分かれて将来のまちのテーマ決めを行い、跡地にできるまちに必要だと思うイラストを白図に貼り、まちを作成し、最後にグループ発表を行った。（用紙は A3 サイズを使用。道路とモノレールのラインが書かれた白図を使用し、イラストも高学年よりは大きいサイズに変更した。）

【プログラム】

時　間	内　容
２校時目	
9：35	まちづくりワークショップ開始
9：40	プロモーションビデオ鑑賞（普天間飛行場跡地利用計画）
9：50	クイズ！跡地利用計画（プロモーションビデオより５問出題）
10：00	みらいの宜野湾市の作成 ①まちのテーマを考えよう ②地図にイラストを貼ろう
３校時目	
10：35	みらいの宜野湾市の作成 ③まちの工夫したところを付箋に記入
10：45	グループで発表の練習
10：50	グループ発表
11：15	感想発表（代表者数名）
11：20	まちづくりワークショップ終了

【講座の様子】

【作成したまち（一部抜粋）】

自然を感じるまち

安全で楽しいまち

災害時に安心できて便利に
生活できるまち

【まちの工夫（一部抜粋)】

- 公共施設があると、みんなが利用できるからです。
- 役所が近くにあると、生活がしやすいからです。
- 児童センターの近くに畑があると、畑で育てた野菜を給食の時に使うことができます。
- 会社で働く人が近くでお昼ごはんを食べることができるように、会社の周辺にお店をおきました。

②大山小学校（６学年）

【実施概要】

ワークショップ当日までに、普天間跡地利用計画のプロモーションビデオを各クラスで視聴した。県内にある文化財を活用している地域の事例を紹介したあと、各グループに分かれてまちのテーマ決めを行った。跡地にできるまちに必要だと思うイラストを白図に貼り、工夫したところをふせんに書いてまちを作成した。最後にグループ発表を行った。

【プログラム】

時　間	内　容
２校時	
9：10	まちづくりワークショップ開始
9：15	文化財を活用した県内の事例紹介
9：25	みらいの宜野湾市の作成 ①まちのテーマを考えよう
9：30	みらいの宜野湾市の作成 ②地図にイラストを貼ろう（前半）
３校時	
10：10	みらいの宜野湾市の作成 ③まちの工夫したところを付箋に記入・貼付け
10：20	グループで発表の練習
10：25	グループ発表
10：50	感想発表（代表者数名）
10：55	まちづくりワークショップ終了

【講座の様子】

【作成したまち（一部抜粋）】

緑いっぱいで過ごし
やすいまち

にぎやかなまち

労働と安全なまち

【まちの工夫（一部抜粋）】

- 道路をローターリーにしたので、車の行き来が便利になります。
- 道路の中心部分に展望タワーをつくり、高台から宜野湾市の景色を見ることができます。
- 家の屋根にはソーラーパネルを使うと環境にいいです。
- 車以外でもまちを回れるように、川舟流しを作りました。
- 桜並木が見える癒しの道を作りました。

③大山小学校（５学年）

【実施概要】

普天間跡地利用計画のプロモーションビデオを鑑賞後に、跡地利用計画に関するクイズを行った。その後、各グループに分かれてまちのテーマ決めを行い、跡地にできるまちに必要だと思うイラストを白図に貼り、工夫したところをふせんに書いてまちを作成した。最後にグループ発表を行った。

【プログラム】

時　間	内　容
２校時	
9：10	まちづくりワークショップ開始
9：15	◇プロモーションビデオ鑑賞（普天間飛行場跡地利用計画） ◇クイズ！跡地利用計画（プロモーションビデオより５問出題）
9：32	みらいの宜野湾市の作成 ①まちのテーマを考えよう ②地図にイラストを貼ろう
３校時	
10：10	みらいの宜野湾市の作成 ③まちの工夫したところを付箋に記入
10：20	グループで発表の練習
10：25	グループ発表
10：50	感想発表（代表者数名）
10：55	まちづくりワークショップ終了

【講座の様子】

【作成したまち（一部抜粋）】

スポーツのまち

みんなが楽しめるまち

物の値段が安いまち

【まちの工夫（一部抜粋）】

- いろんな場所に行けるように、駅をたくさんつくりました。
- ゴミのポイ捨てがない、自然が多いまちになるといいです。
- 防災公園があると、みんなが安心できます。
- 学校と図書館が近くにあると、学校帰りに図書館で調べものができます。
- 横断歩道は点字ブロックで、目の見えない人も安心して歩けます。

④志真志小学校（６学年）

【実施概要】

ワークショップ当日までに、普天間跡地利用計画のプロモーションビデオを各クラスで視聴した。県内にある文化財を活用している地域の事例を紹介したあと、各グループに分かれてまちのテーマ決めを行った。跡地にできるまちに必要だと思うイラストを白図に貼り、工夫したところをふせんに書いてまちを作成した。最後にグループ発表を行った。

【プログラム】

１組・２組		３組・４組	
時間	内　容	時間	内　容
１校時		３校時	
8:35	まちづくりワークショップ開始	10:30	まちづくりワークショップ開始
8:42	ワークショップ開始	10:37	ワークショップ開始
8:52	みらいの宜野湾市の作成 ①地図にイラストを貼ろう	10:47	みらいの宜野湾市の作成 ①地図にイラストを貼ろう
9:30	②まちの工夫したところを付箋に記入・貼付け	11:25	②まちの工夫したところを付箋に記入・貼付け
２校時		４校時	
9:45	グループ発表の練習	11:40	グループ発表の練習
9:50	グループ発表	11:45	グループ発表
10:10	感想発表（代表者数名）	12:05	感想発表（代表者数名）
10:15	まちづくりワークショップ終了	12:10	まちづくりワークショップ終了

【講座の様子】

【作成したまち（一部抜粋）】

にぎやかで暮らしやすいまち

宜野湾の歴史が感じられて
生活に便利なまち

子育てのしやすいまち

【まちの工夫（一部抜粋）】

- 病院の前に緑を置いて空気を良くしました。
- 並松街道沿いに、自然や文化財を観光できるスポットを作りました。
- 鉄軌道を地下鉄にすることで、地上には色々な建物が建てられます。
- 楽しめるエリアに行きやすいように、商業施設はひとまとまりにしました。
- 市の中心となる市役所は、まちの中心に置きました。

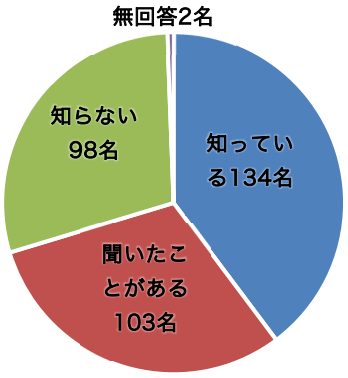
5）アンケート結果（３校全学年）

◆性別

選択肢	人数（名）	割合（%）
1.男子	157	46
2.女子	177	53
3.無回答	3	1
計	**337**	**100**

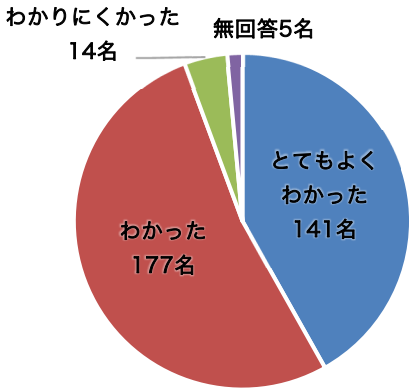
問１.あなたは「普天間飛行場跡地利用計画」を知っていますか。

選択肢	人数（名）	割合（%）
1.知っている	134	39.8
2.聞いたことがある	103	30.6
3.知らない	98	29.0
4.無回答	2	0.6
計	**337**	**100**

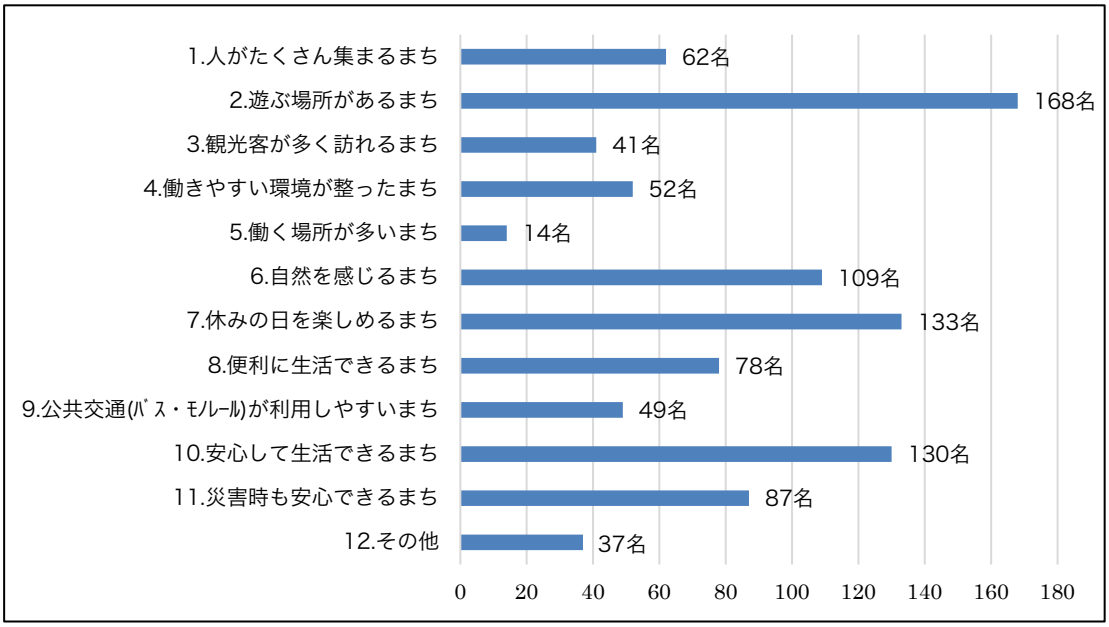


問２.プロモーションビデオを見て、「普天間飛行場跡地利用計画」についてわかりましたか。

選択肢	人数（名）	割合（%）
1.とてもよくわかった	141	41.8
2.わかった	177	52.5
3.わかりにくかった	14	4.2
4.無回答	5	1.5
計	337	100



問３.普天間飛行場が返還されたあとにできるまちはどんなまちがいいですか。
（３つまで選択できます）



【感想（一部抜粋）】

- 普天間飛行場ができる前の事も知れて良かったし、未来の宜野湾市を考えるのも楽しかったです。いろいろ知ったのでお父さんにも自慢出来るので嬉しいです。
- 普天間飛行場が返還されたらどういうまちにしたいかと考えた時、楽しいまちだけではなく、みんなを守れるまちも作ってみました。友達の発表も自分と違う所もあり、私は「これいいな」や「ここ、分かり易くて、工夫しているな」と思いました。みんなそれぞれ違って面白かったです。またまちを作ってみたいと思いました。
- 普天間飛行場返還後のまちづくりを学んで思ったことは、宜野湾市の中央が普天間飛行場だったことです。そして、普天間飛行場の中には自然に関係するものがたくさんあると知りました。返還後が楽しみになりました。

- 私はこれまで「普天間飛行場が返還されたら」なんて考えたことなかったけど、もし返還されたら「安心できるまち」になってほしいなど、考えが浮かんできました。また色々な計画もしていると分かりました。いつか実現してほしいです。
- 私は普天間飛行場が返還されたら、どんなまちにしたいか考える事ができました。普段はこういう事は考えないので、考える機会をくれてありがとうございました。宜野湾市を暮らしやすいまちにしていきたいです。
- まちづくりについて考えることは難しいことだと思っていたけど、やってみると楽しくて「未来にこんなまちがあったらいいな」とか、「どんなまちにみんなが住むのかな」と考えて、沖縄の魅力が伝わるようなまちが作れたと思いました。普天間飛行場が返還されて、まちが出来ることがとても楽しみです。
- 普天間飛行場があることを気にしていなかったし、興味もなかったけど今日の授業で普天間飛行場返還後のまちづくりに興味を持ちました。返還後のまちづくりで、より暮らしやすいまちになるといいなと思いました。今日、普天間飛行場の事も中にある文化財の事もたくさん知れて、私が思う暮らしやすいまちも作れたので、とても楽しく勉強できました。
- 普天間飛行場が返還されたら、遊園地とかを作るのではなくて地形や遺産などを活かした、観光客がたくさん来て、緑がいっぱいで賑やかなまちにしたいなと思いました。

6）取組み成果と今後の課題

【取組み成果】

●児童・市民に対し普天間飛行場跡地に関する興味・関心を高めることができた

・児童・生徒へ向けて制作したプロモーションビデオを活用することで、跡地利用に関する興味・関心を高めることができた。

・今年度は小学３年生～小学６年生を対象に開催したが、学年毎に講座内容を変更することで、低学年から高学年まで楽しみながら跡地のまちづくりについて考えることができた。

・授業参観日に開催したため、児童・生徒のみ対象ではなく保護者にも参加を促した。参加した保護者からも「楽しかった」との声が寄せられ、市民に対しても跡地利用計画に関する周知を図ることができた。

【今後の課題】

●児童・生徒の普天間飛行場跡地に関する興味・関心を促す取組みについて

・跡地利用計画のプロモーションビデオは、小学校高学年～中学生向けに制作していたため、低学年には跡地利用計画部分の内容が少し難しいと感じた。小学校低学年向けのプロモーションビデオの制作について検討が必要と考える。

・過年度までは児童センターや小学校での開催が主だったが、より多くの児童・生徒に対し普天間跡地のまちづくりについて周知を図るため、校長会等で中学校にも積極的に声掛けを行う。

●市民の継続的な普天間飛行場跡地に関する興味・関心を促す取組みについて

・授業参観日に開催することが想定されるため、出前講座の本番までに保護者向けのチラシを事前に配布するなど、多くの保護者が授業参観に参加いただけるよう周知を図る。

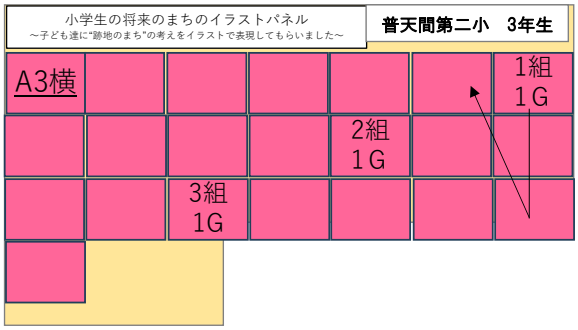
（3）パネル展の企画・開催

1）開催概要

普天間飛行場跡地のまちづくりに興味・関心を持ってもらうことを目的に実施した出前講座で、普天間第二小学校３年生、大山小５・６年生、志真志小６年生の生徒が制作した「みらいの宜野湾市」のイラストや、跡地利用に関する情報や行政の取組みについて周知を図るため、全世代を対象としたパネル展を開催した。

	展示小学校名	期間	開催場所
第１回	大山小（５・６年）	２月５日（月）～８日（木）	宜野湾市民図書館
第２回	・普天間第二小（３年） ・志真志小（６年）	２月９日（金）～14 日（木）	

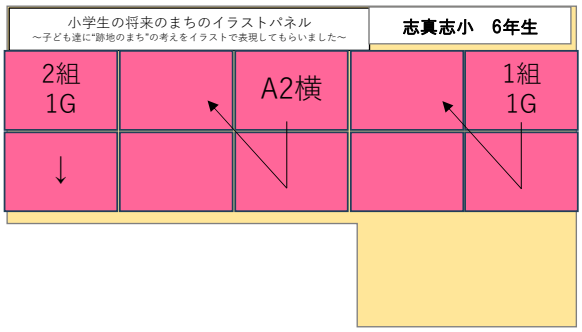
【レイアウト（前列)】



前列パーテーション

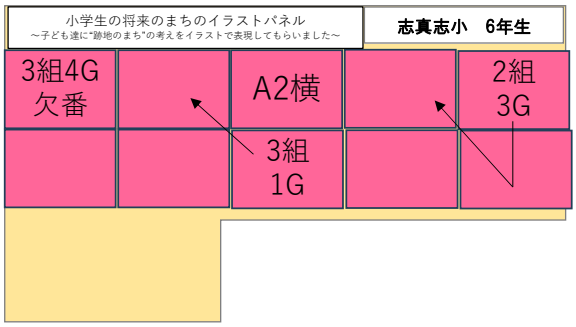
図書館入口側

パーテーション表面



パーテーション裏面

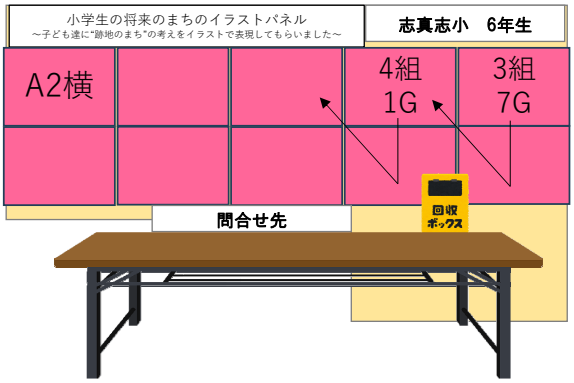
【レイアウト（後列）】



後列パーテーション

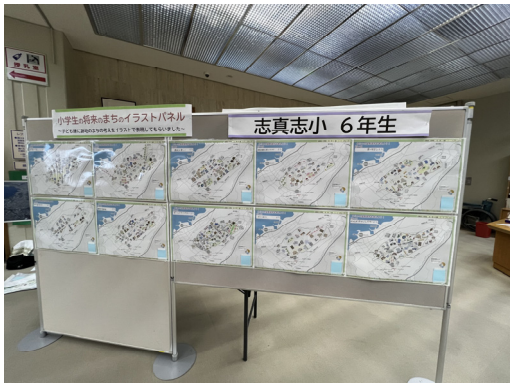
エレベーター側

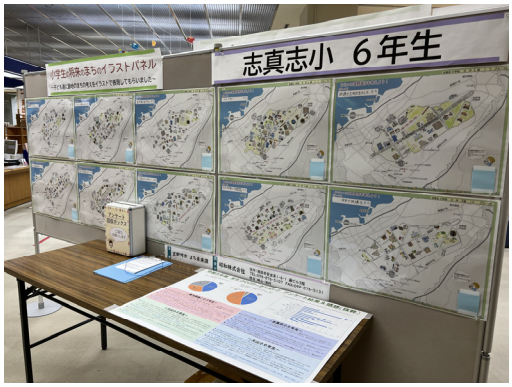
パーテーション表面



パーテーション裏面

【パネル展の様子】

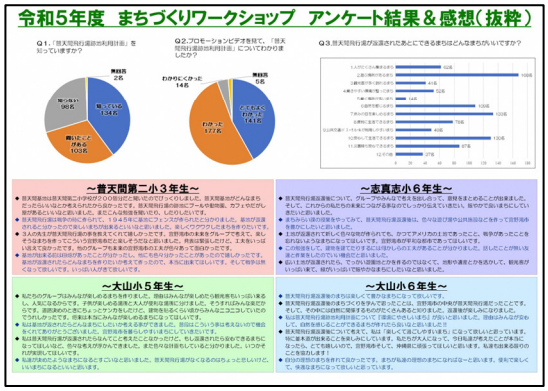




2）展示パネル

小学生が製作した跡地のまちづくりイラスト（みらいの宜野湾市）と、出前講座のアンケート結果を展示した。

●まちづくりイラスト
（みらいの宜野湾市）一部抜粋



●出前講座アンケート

3）アンケート結果

問 1-1.あなたの性別を教えてください。

選択肢	人数（名）
1.男子	5
2.女子	1
3.無回答	1
計	**7**

問 1-2.あなたの年齢を教えてください。

選択肢	人数（名）
1.10 代	4
2.20 代	0
3.30 代	0
4.40 代	1
5.50 代	0
6.60 代以上	2
計	**7**

問 1-3.あなたの住まいを教えてください。

選択肢	人数（名）	構成比（%）
1.宜野湾市内	5	72
2.宜野湾市外	1	14
3.無回答	1	14
計	7	100

問 2.今回のパネル展を何で知りましたか。

選択肢	人数（名）	構成比（%）
1.チラシを見て	1	14
2.知人・友人から	1	14
3.来館して	4	58
4.その他	1	14
計	7	100

問 3. 小学生のイラストを見た感想を教えてください。

- きれいでとても見やすかった。
- 私も書きましたが、とても楽しかったです。いろんなまちがあって見るのも楽しいです。
- こんなまちに住みたいと思った。
- 名前がわからないようになっていたので、孫の作品がわからなくて残念だった。
- 良い考えで出来ていると思います。

問 4. 今回のパネル展で普天間飛行場返還後のまちづくりに興味を持てましたか。

選択肢	人数（名）	構成比（%）
1.興味を持てた	5	72
2.興味を持てなかった	1	14
3.その他	1	14
計	7	100

問 5. 跡地に関するご意見や、その他ご意見がありましたら下記にご記入ください。

- 公開されている跡地利用計画は、私も拝見させていただきましたが、私が感じるのはこの「一等地」を経済効果のために使うだけではなく、より公共の福祉にかなった施設が増え、また宜野湾市がより創造的に発展することができるその土台として利用されることを願っています。
- 飛行機の騒音がうるさいので早く返還されてほしい。
- 基地があると戦争の事を思い出してしまう。基地内にはアメリカ兵も住んでいるので、早く返還されてほしい。
- 出前講座の前からとても楽しみにしていて、普天間飛行場が返還されたら「こんなまちがいいなあ」と考えるほどになりました。

4）取組み成果と今後の課題

【取組み成果】

●市民に対し、普天間飛行場跡地に関する意見収集を図ることができた

・パネル展を観覧した市民から、普天間飛行場跡地に関する意見収集を図ることができた。

【今後の課題】

●周知方法・アンケートの回収率を高めるための工夫について

・アンケートの結果から 10 代と 60 代の観覧が多かった。多くの市民に観覧いただくためにも、周知方法について工夫が必要であることから、宜野湾市 HP や情報誌ふるさと等も活用し周知を行う。

・多くの市民から普天間飛行場跡地のまちづくりについてご意見をいただくために、アンケートの回収率を高めるための工夫が必要であることから、紙のアンケート用紙記入以外に Google フォームなどを活用し回収率を高める方法を実施する。